

国語

〔2～9ページ〕

〔I〕 次の問題文を読み、後の問いに答えなさい。

1

～

13

の解答は解答欄にマークしなさい。

注 1 関わり合い。関与。

問一 — 線部 (アゝエ) と同じ漢字を用いるものを、次の中からそれぞれ一つ選びなさい。

1

ア

- ① 悪事にカタンする。
- ② スンカを借しんで働く。
- ③ カレイな演技。
- ④ セキニンテンカ。

2

イ

- ① ヨユウを持つ。
- ② メイヨある受賞。
- ③ セイサツヨダツ。
- ④ ヨナガに本を読む。

3

ウ

- ① 新聞のシャセツを読む。
- ② セツデンに協力する。
- ③ セツジツな願い。
- ④ 会場のセツビを整える。

4

エ

- ① 機器をチンシヤクする。
- ② チンジュツ書を提出する。
- ③ チンジュの森。
- ④ 山海のチンミ。

問二 — 線部 (AゝC) の語句の意味として最も適切なものを、次の中からそれぞれ一つ選びなさい。

5

A

- ① 感情を前面に出した主張
- ② 誰でも納得する理由づけ
- ③ 素直な気持ちからの発言
- ④ こじつけた言い分

6

B

- ① 手段もなく
- ② 理由もなく
- ③ 意図もなく
- ④ 準備もなく

7

C

- ① おおまかに
- ② 事細かに
- ③ ありのままに
- ④ 簡潔に

問三 — (aゝc) に入る語の組み合わせを、次の中から一つ選びなさい。

8

- ① a しかし — b そして — c また
- ② a また — b そして — c しかし
- ③ a また — b しかし — c つまり
- ④ a しかし — b また — c ただし

問四 — 線部Ⅰ「果」の部首として最も適切なものを次から一つ選びなさい。

- 9 ① 木 ② 田 ③ 一 ④ 口

問五 — 線部Ⅱ「それがきわめて悩ましいこともある」とあるが、その理由を説明したものとして最も適切なものを、次の中から一つ選びなさい。

- 10 ① 客観的な証拠と主観的な直感が矛盾しており、どちらを優先すべきか迷うから。
② 信頼に値しない相手を非難できず、自分の真の気持ちを抑制するしかないから。
③ 相手がつコミットメントが曖昧であり、信頼するかどうかの判断ができないから。
④ 意図的な選択や決定をすることなく、自然に信頼や不信を抱いてしまい、困惑するから。

問六 に入る語を、次の中から一つ選びなさい。

- 11 ① 断念 ② 邪念 ③ 疑念 ④ 執念

問七 問題文の内容に合致するものを、次の中から二つ選びなさい。

- 12 ① パーティの例において、友人が来ないだろうと予期することは、その友人に対する不信を抱いていることと同じ意味である。
13 ② 信頼の欠如と不信は異なる概念であり、「信頼に値しない」と評価することには、しばしば相手への倫理的な非難が含まれる。

③ 相手がコミットメントをもたない場合、わたしたちは一般的にその相手に対して不信を抱くことが自然な反応として見られる。

④ 信頼の欠如と不信は日常的に同じ意味で使われることが多いため、両者を厳密に区別する必要性はそれほど高くない。

⑤ 人は絶えず信頼されたいと思っているわけではなく、他者が求めるとおりの行動を常に期待されるのは必ずしも望ましいことではない。

⑥ 証拠に基づいて信念を抱く場合、いつも証拠の検討から決定、そして信念形成という順序だったプロセスを経ることになる。

〔Ⅱ〕

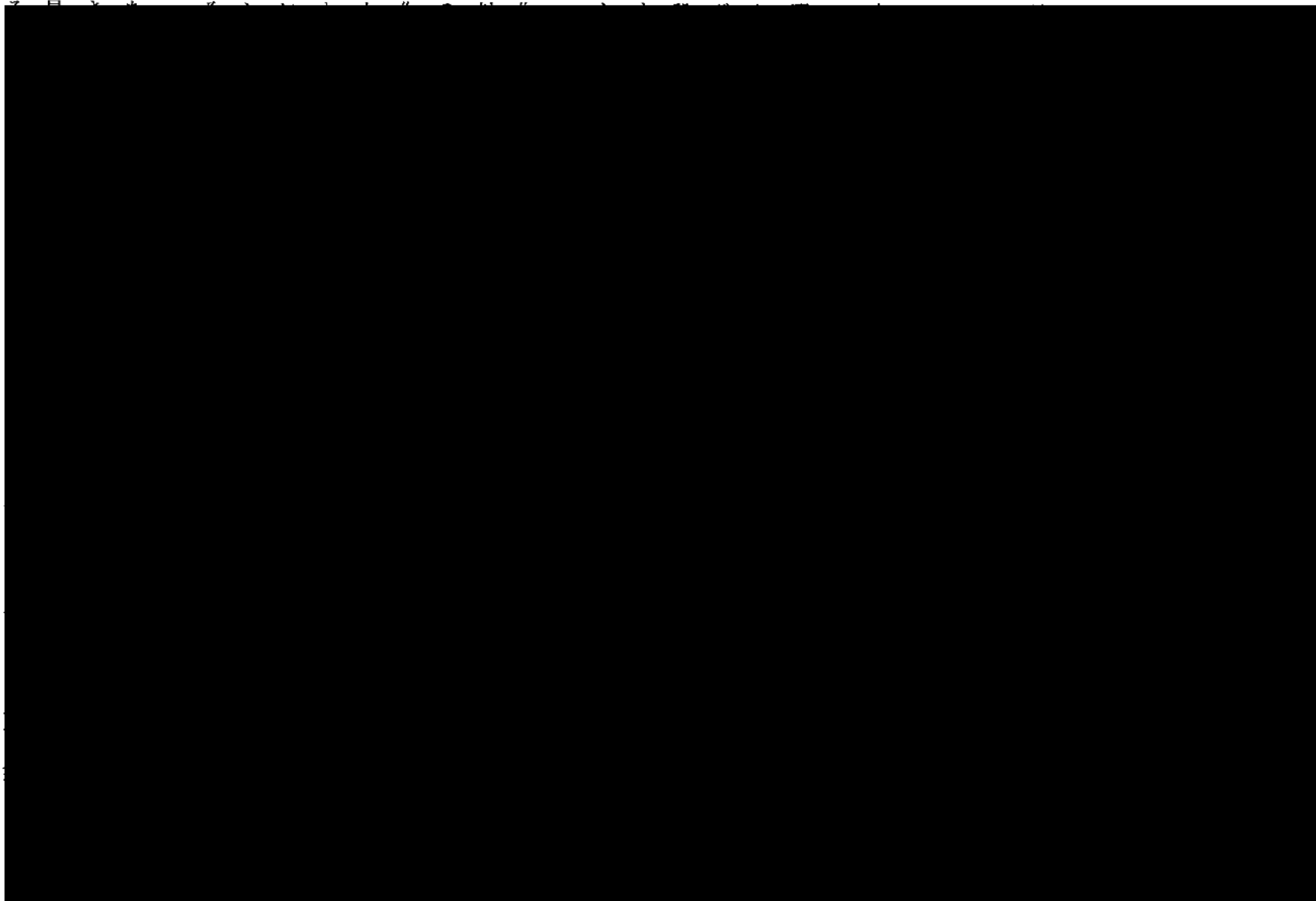
次の問題文を読み、後の問いに答えなさい。

14

↓

26

の解答は解答欄にマークしなさい。



注 1 ラジオ・テレビの番組情報を掲載する欄。

問一 — 線部（ア～エ）と同じ漢字を用いるものを、次の中からそれぞれ一つ選びなさい。

14

ア

- ① シンザンユウコク。
- ② ナイユウガイカン。
- ③ 犯罪をユウハツする。
- ④ リョウユウ並び立たず。

15

イ

- ① セイダクあわせもつ。
- ② ジセイシンを失う。
- ③ セイリョクテキに取り組む。
- ④ キンセイのとれたデザイン。

16

ウ

- ① 依頼をショウダクする。
- ② ショウコリもなく失敗する。
- ③ ショウシンをいやす。
- ④ ショウジン料理。

17

エ

- ① 文章をバツスイする。
- ② スイリ小説を読む。
- ③ 新たな思想をコスイする。
- ④ 業務をカンスイする。

問二 — 線部（A～C）の語句の意味として最も適切なものを、次の中からそれぞれ一つ選びなさい。

18

A

- ① 悪趣味であるさま
- ② ありふれているさま
- ③ 異様であるさま
- ④ 単純であるさま

19

B

- ① 明確な基準
- ② 細部の構成
- ③ 大まかな枠組み
- ④ 綿密な計画

20

C

- ① 理解すること
- ② 刺激すること
- ③ 制御すること
- ④ 分析すること

問三 — (X・Y)に入る語を、次の中からそれぞれ一つ選びなさい。

21

X

- ① 折り合い
- ② 落としどころ
- ③ 算段
- ④ 通信簿

22

Y

- ① 期待
- ② ためらい
- ③ へつらい
- ④ 気休め

問四 — 線部Ⅰ「むしろ安堵する」の理由として最も適切なものを、次の中から一つ選びなさい。

23

- ① 作品に対して緊張しながら向き合う必要がないから。
- ② 作品への対応方法が明文化されているから。
- ③ その書き手の将来性を容易に想像することができるから。
- ④ 典型的な作品には読み手も没入しやすいから。

問五 — 線部Ⅱ「それはやっぱり「ランデブー」と同じ道を辿る」の理由として最も適切なものを、

24

- ① 「それなりに書けている」作品でも、創作物である以上は完全に「ベタ」を回避することは不可能であるから。
- ② 結末部分に意外性を盛り込むことができれば、結局はありきたりな展開の物語に落ち着いてしまうから。
- ③ 「ランデブー」以外の作品でも、創作の論理を明文化できなければ「それなり」の域を抜け出すことはできないから。
- ④ 一見すれば「それなり」の作品でも、他作家の模倣に甘んじる姿勢が見えれば、最低限のラインには達しないから。

問六 問題文の内容に合致するものを次の中から二つ選びなさい。

25

26

- ① 男性の妄想を具現化したような「ランデブー」は明らかに時代に逆行しているが、その中にも「それなりに書けている」小説は存在する。
- ② 筆者は文芸誌の新人賞の選考に関わった経験を通して、「それなりに書けている」小説の判別方法は容易に明文化できないものであることを知った。
- ③ 小説の新人賞の選考においては、作品自体の優劣そのものよりも、旧来の規範から逸脱しようとする姿勢が評価の基準となる。
- ④ 文学賞の選考に残るためには、常にすべての実力を出し切りながら書き続けられる作家であると期待される必要がある。
- ⑤ 定型化を拒む小説というジャンルとは対照的に、二時間サスペンスドラマで展開される物語には明文化された規範が存在する。
- ⑥ 小説の良し悪しを判別するうえでは、書き手に類型化を回避しようとする姿勢があるかどうかを見きわめることが重要になる。

次の問題文を読み、後の問いに答えなさい。

27

36

の解答は解答欄にマークしなさい。

土佐の国へ行きし時^a、城下より三里ばかりこなたにて、雨いとう降り出^いでて日さへくれぬ。道より二丁ばかり右の山の麓に、いぶせき庵^{いばり}の見えけるを行きて宿乞ひけるに、としの頃四十ばかりなる僧のひとり炉をかこみ居りしが、「食ふべきものもなく風^Aふせぐべきふすまもあらばこそ。」といふを、「雨だにしのぎはべらん外に何をか求めはべらん。」と、強ひてやどかりてさ夜更くるまで相對して炉をかこみ居るに、この僧初めにものいひしより後は一言もいはず、坐^ざ禪するにもあらず。睡^ねるにもあらず。口のうちに阿弥陀ぶつと唱ふるにもあらず。何やうの物語してもただ微笑するばかりにて有りし^b。おのれおもふやう、こは狂人ならめと。その夜は炉のふちにいてねて曉にさめて見れば、僧も炉のふちに手枕してうまくいね居りぬ。さてあけはてぬれど、雨はなほ宵よりもつよくふりて起^たち出づべふやうもなれば、「晴れずともせめて小雨にならんまで宿かしたまひてんや。」といふに、「いつまでなりとも。」と答へしは、きのふ宿かせしにもまさりてうれしかりし。日の巳^Iの刻過ぐる頃に、麦の粉湯をかきたててくはせたり。さて、この庵のうちを見るに、ただ持仏堂に木像の如来ひとつたてると、窓のもとにささやかなるおしまづきを居^{すま}て、その上にふみ二巻置きたるより外何ひとつ貯^{たくわ}へもてりとも見えす。この書何の書にやと見れば、唐刻の『莊子』なりし。その書のなかに、この僧の作と見えて古詩を草書にてかけるがはさまりあり。から歌^{注2}ならはねばその巧拙は知らざれども、その草書の見事なる事目を驚かすばかりなるゆゑ、笈^{おひ}のうちの扇二本取り出でて賛を乞ひけるに、言下に筆を染めぬ。一つは梅に鶯^{うぐいす}の絵、一つはふじの絵なりしが^c、今はその賛はわすれたれど、ふじの絵の賛の末に、かくいふものは誰ぞ越州^{注3}の産^{うぶ}了^{りょう}寛書すと有りしをば覚え居りぬ。その日も又暮れ近きに雨はなほ時^イじくにふりてやまざりしにぞ。その夜もきのふのごとく、僧もともに炉のかたはらにいてねしが、明くればいつしか空はれて日のひかりかがやきぬ。例の麦の粉くらひてたち出づる時、一夜の報謝の為にいささか銭を与へけれど、^B「かかるもの何にかはせん。」とうけひかず。そのころさし戻らんもほいならねば、引きかへて紙と短尺^{ざう}を与へければ、よろこびてうけ納めぬ。

こは、今ははや五十年余りむかしの事なるが、ちかきとし橘茂世^{注4}とかいへるものの著はせし『北越奇談』と題せしふみに、「僧了寛は、越後の国橘何某^{なにがし}といふ豪家の太郎子なるが、幼き時より書をよむ事ばかりを嗜^{たしな}み、殊に能書なりしが、古人の風を慕ひ、さしも富貴の家を嗣^{つぎ}ぐ事をいとひ、終に遁世^{とんせい}して行方しれず」と。はたその家に有りし時の事どもつばらにするせしを見れば、かの土佐の国にて逢^あひし僧こそはと、すずろにそのむかしおもひ出でられて一夜寝覚めの袖をしぼりぬ。

〔寝ざめの友〕

注 1 机。

2 漢詩。

3 良寛。越後国出雲崎の禅僧。詩歌を多く残す。

4 橘崑庵茂世。越後国の文人。

問一 ― 線部（ア～ウ）の語句の意味として最も適切なものを、次の中からそれぞれ一つ選びなさい。

27

ア

① 心ひかれる

② おどろおどろしい

③ 丈夫そうな

④ みすばらしい

28

イ

① 時折

② 段々と

③ ずっと

④ ちょうどその時

29

ウ

① 残念なので

② 意外なので

③ もったいないので

④ 腹が立つので

問二 — 線部 (A、C) の口語訳として最も適切なものを、次の中からそれぞれ一つ選びなさい。

30

A

- ① 風をふせぐための夜具もあれば泊めてあげられるが
- ② 風をふせぐための夜具が見つければ泊めてあげよう
- ③ 風をふせぐための夜具も用意してあるので泊めはするが
- ④ 風をふせぐための夜具をあなたが持っているなら泊めよう

31

B

- ① こんなものをどうするつもりなのか
- ② こんなもので満足できようか
- ③ こんなものが何になるだろうか
- ④ こんなものをどこで手に入れたのか

32

C

- ① 寝入りしなに、悔恨の涙にくれたことであつた
- ② 寝起きに驚きのあまり、袖を涙にぬらしてしまった
- ③ 強い悲しみを感じ、起きぬけに涙が止まらなくなった
- ④ 眠りから覚めて、懐かしさに涙を流したことであつた

問三 — 線部 I 「巳の刻」が指す時間帯を、次の中から一つ選びなさい。

33

①

午前八時頃

② 午前十時頃

③ 午後二時頃

④ 午後六時頃

問四 — 線部 (a、d) 「し」のうち品詞が異なるものを、次の中から一つ選びなさい。

34

①

a

② b

③ c

④ d

問五 問題文の内容と合致するものを、次の中から一つ選びなさい。

35

①

筆者は、『北越奇談』を読んだことをきっかけに僧に出会ったことを思い出した。

②

筆者は、何も話さず微笑する僧を狂人だと思い、早々に庵を立ち去ることにした。

③

孤独をもてあましていた僧は、悪天候を理由にして先を急ぐ筆者を引き留めた。

④

筆者は、僧が有名な人物であることを知って、扇に賛を書いてもらった。

問六 『寝ざめの友』と同じく江戸時代に成立した作品を、次の中から一つ選びなさい。

36

①

海道記

②

三冊子

③

太平記

④

今昔物語集